



# 老舗 フルーツパーラー 神田 万惣 (MANSO)

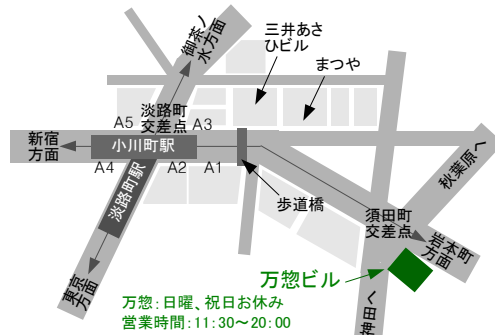


万惣(まんそう)の創業は、1846年というから160年以上も前から、この場所商いをする一流果物商社である。明治43年には、果物業界で最初の宮内庁御用達となり、その高い評価と信用は現在まで継承されてきた。万惣ビルには、1階は果物売場店舗(上右写真)、中2階フルーツパーラー(入口左上写真)、2階はピッツェロ・カフェになっている。かつては、5階にサロン・ド・万惣サンクという仏蘭西料理のフロアーがあった。ここで、ちょうど食べごろになった果物を、ふんだんに使用した料理をいただいた。今でこそ「マンゴウ」は大衆化した。当時(20年ぐらい前)は、冷スープにマンゴウの果肉のみが使われているのに驚いた記憶がある。2階はいわゆる軽食、果物、そしてパフェのお店である。中でも軽食は伝統的で懐かしい味を守る。果物は、食べ頃のものをつか盛り合わせてあり、これは、さすがに別格の素晴らしさが漂う。しかし、今頃のお勧めは、こちらの「パフェ」(写真)。季節や時代によっていくらか変化してきた。中でも「上海風パフェ」が1番記憶に残っているが、現在は、「万惣お勧めパフェ」になっている。中2階はフルーツパーラー専門になるが、気楽に入れる喫茶代わりに丁度良い。お勧めは出来ないが珈琲・紅茶もある。どのお料理を戴いても申し分ないが、全体的にはやはり「日常では食べられない、上級な果物をいただける」という印象が残る。あなたが女性なら、是非、遠慮のいら



ない、お友達連れで行ってみて欲しい。ほんのり甘く美味しい一流果物を、お腹いっぱい食べることは、ストレス解消にもなるし、それが凄く気持ちいい。後味もすっきりして、家に帰れる。そして、帰り際、この万惣なら、次も「また来よう」と思うに違いない。

70年間焼き続けられてきた、当店自慢のホットケーキに、指示通りシロップをかけた時の様子。しばらくすると、シロップは全てホットケーキに吸い取られてしまう。



都営地下鉄 新宿線の小川町駅または、都営地下鉄 丸の内線淡路町駅で下車A4またはA1出口を登り、須田町方面へ歩き須田町交差点まで行く。その正面に万惣ビルがある。